

私たちの母乳……

おっぱい

飲みたくない？

東方
噴乳録



お名前は？

「ひ、聖白蓮と申します…
よ、宜しく願います…」

よろしく願います。

聖さんは今回が撮影は初めてですか？



「は、はい…」

そんなに緊張しなくても大丈夫ですよ、
もっとリラックスして下さい。

「…はい…」

リラックスするように雑談でもしましょうか。
お仕事はなにされてるんです？

「あ、寺の住職をしております…」

住職…ということはお坊…尼さんですか！
AVとかに出ていいんですか？

「も、もちろん皆には内緒で…」



なぜAVに出演しよう？

「そ、その…寺では…」

戒律で禁じられているので…

どうしても欲求不満になってしまって…

いけない事だとはわかってはいるのですが…」

なるほど…ところで

今回は母乳ものAVとらうことなんですが…
聖さん、母乳どれくらいうちます？

「あ…えっ…その…」

恥ずかしがらずにちゃんと答えてくださいよね。

「どれくらいうらうのがよくわかりませんが…

茶碗を満たせるくらいは出ると思います…

いつもは…それくらい…」



ら…いつも…日常的に？

「はい…定期的に胸が張ってしまったり…

ど…どうしても苦しいときは自分で搾乳するんです…」

ご自分で搾乳されているんですか？

「はい…人には頼めないのです…」

今日はオツパイはどつですか？
張ってますか？

「は、はい…ちよつと張つてまわ…
少し…苦しんでわ…」



それじゃあさつそくオツパイを
見せてもらえますか？

「は…は…」

それじゃあそこに座って...

いつもお経を上げる時みたいに手を合わせてください。

「じ...こんな感じですか？」

そうそう...

そのままの姿勢で...



聖さんって陥没乳首なんですわね。

乳輪もぶっくらしてていてヒロイなあ...

「あ、おっぱいなんすか...」

ではその格好のまままでお経を上げてもらえますか？

「え…？ 経を読むのですか？ なぜ…」

読経搾乳プレイってやつです。

これから何があっても

お経を止めないで

くださいね。

「は、はあ…」

わかりました…」

ドッキ♡

ドッキ♡

ドッキ♡

ドッキ♡

「観自在菩薩
照見五蘊皆空

行深般若波羅密多時
度一切苦厄…」

「舍利子 色不異空 空不異色…ひゃっ?」
な、何を…!?」

ほら、お経を止めないで!
「は、はい…」

いいですか、止めないでくださいね!

「し…色即是空 空即是色…
受想行識亦復如是 舍利子 是諸法空相…」



「不生不滅 不垢不浄よ…おおおおお!?」

そのお尻、そのお尻!

「ふっ…不増不減…是故空申…」



「無色…無受想行識 無げ…んんっ、耳鼻、
舌身意…無色声香み…みぞ、くほお…♡♡」

あ、乳首吸いだされてきた…

「やあ…す、吸らねばならんぞ…」

「見なすぞとやら…」

お終止まっておりますよー！



「無明界…乃至無意識界 む、む、む♡
むみよじやん♡♡♡むむみよおじん♡♡♡」

「んあっ、なっ、ないっ、むんっっっ、

「や…やくむろお♡ホオ♡やくむんっっっしんんんんん♡」

だんだん声が甘くなってきましたね。

「むくしゅう…」

めつごお♡ホオオ♡

むっ♡ちやっ♡

くごお♡」

（駄目っ…♡

おっぱいから熱いの

だんだん止がってる…）

♡♡♡

ギョッ

お

ギョッ

お

♡♡♡
お

「イン♡イン♡イン♡らむっよんんんんん♡
ほだ♡イン♡」
さちめたはあ、えは「やああ♡」
（…♡♡♡無理っ♡♡♡）

それではカメラの前で
いつもやっているようにオナニーして下せろ。

「あ…は…はひ…」

はあ♡

ちゅわ〜♡

ムン♡

はあ♡

モ♡

グイ

ト♡♡

いまのオナニーの様子を、できるだけいやらしい
言葉を選んで口で伝えて欲しいんです。
お願いします。

「ん…♡はあ…あ…♡ん…♡」

オッパイ揉みながらするのが好きなんです…

「そんな…言わないで…♡」

うん…なんかこう足りない感じが…
そうだ、淫語実況しながらオナニーしてくれますか？
「え…はいんじ…じ…きょひ…っ」



いまのオナニーの様子を、できるだけいやらしい
言葉を選んで口で伝えて欲しいんです。
お願いします。

「は…はい…え、えと…わ、私はいま…
ピンク色のびらびらオマ○○をローターで
クリクリ弄っています…」

いらですよ聖さん、その調子！

「あ、あと…私のおっぱい…手のひらからこぼれ落ちそうなの…デ、デカパイを…揉みながらするのが…好き…です…♡」

はあ♡

はあ♡

はあ♡

はあ♡

はあ♡

グイ

ト♡♡

「あ、ああ…デ、デカ乳輪の陥没乳首も…気持ちよくてだんだんボッキしてきました…デカパイ弄りながらオナニーするの…とっても気持ちいい…♡♡」



「んはあ…おっぱい弄ってたら
乳首熱くなってきました…♡♡♡
オマ○「もごんごんぐちゅぐちゅ」なっ♡
あっ…はあ…♡♡♡あ、はああ…♡♡♡」



「ふうう…!! 指が止まらないい…♡♡♡
おっぱいの奥から母乳がせり上がってくるのが
わかる…ミルク出したい…んっふう…♡♡♡ふう…♡♡♡
ああ…乳首の先っちょからミルクが…
チ○ポから出るガマン汁みたいに…いやらし…♡
ああ…♡♡♡いひい…♡♡♡」



「~~~~~シシシシ~~~~~」
「~~~~~」

「~~~~~」
「~~~~~」

「~~~~~」
「~~~~~」
「~~~~~」
「~~~~~」

「~~~~~」
「~~~~~」

「~~~~~」
「~~~~~」

「~~~~~」
「~~~~~」
「~~~~~」
「~~~~~」

「~~~~~ッあーはあ…はあ…ん♡♡♡
す、すまましえん…イ、イッてひまいまひた…」



「あ…おひいじか…母乳も…はまりやないら…
ねも…おまひらこ…♡♡♡♡♡」

聖さん、お腹大丈夫ですか？
苦しくありませんか？

「んう…はあ…はあ…はあ…だい…じよびな…どね…」

ドキ♡

ドキ♡

ドキ♡

ドキ♡

（お腹の中がたぶたぶ…さっき出した

母乳が全部…お浣腸されて私のお腹の中…

何故かしら…恥ずかしい事されてるのに…

すく…ドキドキする…）

それじゃあ動きまますよ。

「んんおああああ♥♥♥♥ダメッ!どんっ!
ミルク出ちゃうううう~~~~♡♡♡♡♡♡」
うあ…聖さんっオッパイ射乳したら
マ○コギツチキチに締まるう…!!

あっ♡

ハッ♡
ハッ♡

ハッ♡
ハッ♡

ハッ♡
ハッ♡
ハッ♡
ハッ♡

ズッ♡

ズッ♡

「あああチ○ポいい♥♥♥♥やっぱりチ○ポいい♥♥♥♥
オチ○ポ様きもちいい♥♥♥♥♡♡♡♡♡♡!♡♡♡♡♡♡!
イクっ♥♥♥♥乳汁撒き散らしながらイクううう♥♥♥♥
♡♡♡♡♡♡」

♡♡♡♡♡♡ちも射精しますよー!

♡♡♡♡♡♡マ○コに射精しますよー!

「おおおおおおおおおおおおおおおおおおおおおおおおおおおお
おおおおおおおおおおおおおおおおおおおおおおおおおおおお
おおおおおおおおおおおおおおおおおおおおおおおおおおおお
おおおおおおおおおおおおおおおおおおおおおおおおおおおお
おおおおおおおおおおおおおおおおおおおおおおおおおおおお
」

「イククーっ♡♡♡雄チ○ポでイグ♡♡♡
ザーメン射精されてイク♡♡♡」
うっうっおおおおッーっすごい射精るー！



「はひ…はひ…はひ…はひ…♡♡♡♡♡
おっぱいまだ出てくる…」



はあ…ハア…だ、射精した…はあ…
そ、それじゃあ射精した事だし、
お尻のプラグ…抜きましょうか…

「え…？ちよっと待って下さい…そんな
いったばかりなのに…？待つ…！」

びく…♡
びく…♡

お名前は？

「ミズホマリン」です。
今日は耳づく頼むわ」



よろしくお願いします。

マミジウさん、ずいぶん慣れてますね。

「なに、昔、こういった仕事は
戯れに受けた事があるからの」

女優さんだったんですか。今回の撮影は素人さんばかりだと伺ったんですが。

「そんな大したものではないよ。それにずいぶん昔の話じゃし…素人みたいなものじゃよ。あまり年寄りに無理をさせるなよ?」



そんなこと言っ
て自前でコスプレ
までして気合入
ってますね。

「はい、はい、この好きじゃな〜」

今回は母乳ものAVというんですが。

「ん。乳ならいくらでも出るぞ？」

以前よりは少し出が悪くなったがな」

垂れているけど柔らかかそうなオッパイですね。

何カップあるんですか？

「Oか…Pじゃったかな？」

すごい！巨乳というか爆乳ですね！

「どうじゃ？吸い付きたくなってきたか？」

わしもだんだん体がうずいてきよったよ」

それではマミツウさんのお乳を

見せてもらいましょうか



脱いでもらって改めて見てみると、
思ったとおりのすごいオッパイですね。
見事な陥没乳首にブラでも隠せないくらい
の巨乳輪
すっごいヒロイんですよママミジウさん…



「はは、そんなに褒められると何だか
いそばゆいな」

それじゃそのままの体勢でいてくださいね。
ちよっと失礼します…よっどー！

「お…？何じゃこれ…物々しい機械じゃのう」
乳牛用の搾乳機です。これでミルクを吸いだします。
「う…牛用の道具かえ…？」



ドキ♡
ドキ♡

出力は調整してあるので
痛いなんて事はありませんよ。
安心してください。
それじゃスイッチ入れますね
「あ、待つ…」



「ん♡うひひひひひ♡♡♡引っ張らわぬっ♡♡♡」
痛いですか？

「ん…いや…なんだか
不思議な感覚でな…っ♡」

（おおっ…♡これはっ…♡
わしの乳の奥の…乳首が無理矢理
吸い出されるのを感じるっ♡
乳首ムズムズするっ…♡♡♡）

グイイ〜ン…

ずいぶん乳首が吸い出されてきましたね。
あの見事な陥没乳首の中にこんなぶっくらとした
充血してチ○ポみたい
にポッキしてますよ。

グイイ〜ン...

「いい、言っでない...♡♡♡
は、恥ずかしい...♡♡♡
く♡こんな引き出された乳首、
自分でも見るの初めてなんじゃからあ...♡♡」

♡♡♡

♡♡♡

グイイ〜ン...

どうですか？搾乳機で乳首を引き出された感想は。

「ま、まるで牛になった気分じゃ…♡♡♡
ち、乳首の奥のほうが
なんだかムズムズと
してきよったわい…♡♡」

グイイ〜ン…



グイイ〜ン…

ん、母乳出そうなんですわね。
じゃあ出力上げましょうか。

「ち、ちょっと待たぬか…！」

「ンツホツ♡♡♡ホヒツ♡♡♡ひいらつ♡♡♡」
すぶらー！一気に噴き出した！

「待っ♡♡♡♡
待てと言ったじゃろ♡♡♡♡

ああ出るっ♡♡♡♡

ムハハハ♡♡♡♡
びゅん

ムハハハ♡♡♡♡

勢いがまるで噴水みたいだ…
溢れ出しちゃってるよこれ。

ムハハハ♡♡♡♡

びゅん

ググググググー…

「ンオオオオツ♡♡♡、ふおーっ♡♡♡ふおーっ♡♡♡
い、イク♡♡♡♡乳でイクっ♡♡♡♡」



「お…♡は…♡あ…♡♡
はぁー…♡はぁー…♡♡」

（軽くイッてしまった…♡）

すごい甘い匂い…
ミルクもこんなに…

搾乳機から溢れて

こぼれちゃってますよ…♡

はぁ

はぁー

はぁー

はぁー

はぁー

はぁー

「んっ…♡はぁ…はぁ…♡
し…心配せんでも…
はぁ…♡わしの乳はまだまだ出るぞ…♡♡」

「もし乳を搾り出せばよいのか？
変わった趣向じゃな…」



「ふ…ふん…ん…ん…ん…ん…」



「んっ…♡っ…んんっ…♡ん…あうっ…んっ♡♡♡」

ちゅきゅんしたばかりなのだからっ♡♡♡おんんんんおね。

「んっ…♡まだ…たんと詰まってるからのお…」

はあ

んん

はあ

びゅー♡
びゅー♡

（ああ…乳房の奥に溜まった母乳が

噴き出して心地いら…♡♡♡

まろく乳首で射精してなるんじや…♡♡♡）

「んっ♡んっ♡まだ出るっ母乳止まらぬっ♡♡
母乳を搾る手が止まらぬう…♡♡」
もうグラスがミルクでいっぱいじゃないですか。

「まだまだ
搾り足りん…♡
もっといっぱい
射乳したい…♡♡
おまけに女陰まで切なくなってきたのじゃ…♡
は、はやく…魔羅を…チ○ポ欲しい…♡♡」



「ほおっ♡♡ほおおっ♡♡
チ○ポっ、チ○ポおおお♡♡♡♡
おおおお」しが欲しかったのじゃあああ♡♡♡♡

「も、もっとくれええ♡もっと突いてくれええ♡
乳房も揉んでくれええ♡♡♡♡♡
わしのだらしない乳から
乳汁を搾り出してくれええ♡♡♡♡





「おおっ♡♡♡きもひいい♡♡♡
もっと♡♡♡と強く♡♡♡強く揉んでえ♡♡♡
おっぱいめっちゃくちゃにしておくれえ♡♡♡」

うっっ…マミジウさんのマ○コ
オッパイ揉んだら急にキツくなってきたっ…

「す♡♡済まぬ♡♡すまぬ♡♡
ゆるゆるババアマ○コですまぬ♡♡
頑張って気持ちよくするからっ♡♡♡
も、揉んでッ♡♡♡もっと揉んでッ♡♡♡
あーダメー出る！母乳出るっ！

みっともないデカ乳首からっ♡♡
乳汁噴き出すところしっかり録ってええ♡♡♡
ごっごっちも射精しますよー！

マミジウさんのババアマ○コに射精しますよー！

お名前は？

「や、八雲藍だ…」

よろしく頼む…」

はい、よろしくお願ひします。

藍さん、そんなに緊張しなくても

大丈夫ですよ〜



「う、うう…紫様から言われて来てみたが

なにぶんこつこついうことは…その…

初めてでな…慣れてないんだ…」

ほらほら、

もっとリラックスしてください。

今回は母乳ものAVということなんですが…

「ぼ、母乳…？む…昔、橙が小さい頃に
飲ませていた事はあるが…今も出るかな…」

あ、お子さんがいるんですか？

「あ、いや橙は子供とかそういうのでは…
…まあ娘みたいなものか…」



いやーまさかママさんだったとは…

じゃあ今回はママプレイで決まりですね。

「まま…ぷれい？」

子供をあやすような感じで

甘々なセックスをお願いします。

「な…なんだかよくわからないが…」

それにしてもおっきなおっぱいですね。
何方ツプあるんですか？

「じ、Jかそれぐらいは…」

Jカップ…！爆乳ですね…

「あ、あのっ！早くその…始めないか？
この質疑応答…なんだか恥ずかしい…」



インタビュ어가恥ずかしいって珍しいなあ…
そ、それじゃあさっそく藍さんのお
おっきなおっぱい見せてもらいましょうか。

「あ、あは…」

それじゃあ藍さん、
この哺乳瓶にミルクを搾って入れてください。
満タンになるまで入れてくださいね。



「ん…まだ出るかな…？」
頑張ってくださいよ。

「んあああああつ……♡♡♡♡
や、やっと……おっぱい出たあ……♡♡♡♡
おお……!

「あ……一度出始めたら……止まらない……♡
どンドンミルク出てきちゃう……♡♡♡♡♡♡

はあ

はあ

キター♡

キター♡

びゅん♡♡

すごい……みるみるうちに
哺乳瓶がいっぱい……

「ふあー♡♡ふあー♡♡

おっぱいませちいい……♡♡♡♡♡♡

い……いっぱい……いっぱい出たあ……♡♡♡♡

藍さん、ここからは口調も
子供をあやすような感じで…
「んっ…わ、わかった…
はあ…はあ…どう…?
ま、ママのおっぱい…おいし…」

ん…ん…おいし…
「そ…そ…か、おーよしよし…」



(な、なんだかちよっと楽しくなってきた…
橙が乳離れしてなかった頃を思い出すなあ…)

「あ、ほらほらたくさん飲まないとおっぱいなくなるぞ?」
んん…おっぱい…おっぱい…



「あ…っ…♡お、おっぱい…また出た…♡♡♡」
んんっ…ミルク…甘くておいしい…
「あーっ…♡もっ…もっ…と吸って…♡♡♡
ミルク飲み干してえ…♡♡♡」

「んあ…っはっ…あ…いい…♡
おっぱい…いい…♡」
(ああ…おっぱい気持ちいい…♡♡
すーっ♡♡♡おっぱい吸い干す♡♡♡)



「んっ♡んっ…♡♡♡どっだ…？
ま、ママのオマ○コ気持ちいいか？」
うん…何も動いてなくても射精そうだよ…

♡トキ♡

♡トキ♡
♡トキ♡

♡トキ♡

（ああ…雄の太いち○ポがあ…♡生子○ポがあ…
オマ○コの中…♡みぢみぢに入ってるう…♡
こ、この感覚何年ぶりだろう…♡♡♡）
じゅじゃあ動くよ…監ママ…♡



「ふあっ♡あっ♡あっ♡あっ♡あっ♡
手のポツ♡手のポがゴリゴリ突いてりゅっ♡
きもひいいいっ♡♡♡♡♡」

「ああっ♡いいいっ♡♡久しぶりの雄子のポおお♡♡
もっ♡もっ♡もっ♡もっ♡もっ♡思いっ♡きり突いてえっ♡」

あああっ♡スゴイっ♡！藍ママのママのママの締め付けっ♡！

ママとは思えないうっ♡！



お名前は？

「西行寺幽々子よお〜

今日はよろしくお願いするわね〜」

よろしくお願いします。

幽々子さんは今回の撮影がAV出演

初めてだとか…



「ええそうなの〜

紫…知り合いから聞いてえ〜、

なんだか面白そうだなって〜

気持ちよくさせてくれるって聞いて〜

面白そう…ですか…

今回は母乳ものAVということなんですが…

「母乳？大丈夫？いっぱい出るわよ〜？」
そういう体質なの〜」

服の上からでもわかる見事な巨乳ですね。
何カップあるんですか？



「そういうの測ったことないから解らないわ〜」

ブラジャーは煩わしいからつけてないの〜」

え、いつもノーブラなんですか？

「そっよお〜？今日もつけてないのよ〜」

「それじゃあもう始まるのかしら〜」
撮影ってもう始まるのかしら〜

あ、一応カメラ回ってます。

「あら〜？そうなの〜？」

私、いつ始まるのかな〜？って思ってます〜」



そ、それじゃあ幽々子さんのオツパイを
さっそく見せてもらいましょっか。

「はぁ〜♡」

「んっ…はあ…
し、縛られるのは
初めてだけど…
なんだか変な感じね…」

そんなにきつく
縛ってはいませんが
大丈夫ですか？

「だ…大丈夫…でも縛られるなんて聞いて
なかったから…どうなるのかせんせん
わかんないんだけど…」
そのまま力を抜いてじっとしててくださいねー



(後ろ手で
縛られてるだけで
こんなに動けない
ものなんだ…
なんだか
恥ずかしい…)

どうですか？
ちよつと興奮して
きましたか？

「ん…じ…これ興奮してるのかしら…？
なんだかいつもと違ってちよつとアキアキは
してるんだな…」



ドキドキ

ドキドキ

たろっん

ドキドキ

ドキドキ

「ふあああああああ♡だめっ♡
出ちやう！おっぱい出ちやうよおお！
あちゅい♡おっぱいでちやう♡
とまらぢやい♡♡♡♡」

「ふあ！ふあああ！

縛られておっぱい出す♡
見にやいでえ♡♡♡
恥じゆかしいよ♡♡♡

「ひゃあああああ♡
きもひい♡♡♡

縛られっ♡おっぱい出ちやう♡♡♡♡♡



「ね…ねえ…
次は何するの…？
また…痛い…どう？
私のおっぱい…虐めなや！」

痛いのが嫌ですか？

「ん…♡おっぱい虐められるの…
そんなに嫌じゃないわ…
むしろ好き…かも♡」
それじゃ、さっきより
ちよつと痛くしまますよ？
「うん…♡いいわよ…♡」

たふん♡

たふん♡

たふん…♡

ドキ♡

ドキ♡

ドキ♡

ドキ♡

ドキ♡



「ん……ああ……っ！
おっぱい潰れるぅ……っ！
は……ああ……っ……っ！
おっぱい痛いですか？
「んっ……いひゃい……けど……
やめなれでえ……♡♡」

続けて欲しい？

「もっと強〜くゴロゴロしてっ♡
おっぱい潰されるのいいっ♡♡
わたし変になっぴゃったのかなああ♡♡」



ん

ん

「ぶうう~~~~♡♡痛いのいらっ♡♡
おっぱい潰されるのきせひいいよあ~~~~♡♡」
乳首がピンピンにポッキしてますよっ..
もしかして幽々子さん感じてますよっ..

「んう~~~~♡♡」
幽々子さんはお嬢様って
聞いていたけど、
おっぱい虐められて感じる
変態お嬢様なんですわねえ。
「やだ...♡そんなこと
言わないでえ...♡♡」



「あっ♡あっ♡あっ♡
奥のほうから熱いの♡
熱いミルクっ♡
おっぱい出るの感じ♡」

「あぁ♡♡♡
グリグリ伸ばしちゃらめえ♡
おっぱいおもちみたい♡
伸ばしちゃらめなの♡
奥のほうのミルク押し♡」

「ギン
ズン」





「あ~~~~
出たあ~~~~♡♡♡♡♡
おっぱい出たあ~~~~♡♡♡♡♡」

「きもひいいい~~~~♡
おっぱい痛いのだ
きもひいいい~~~~♡
もうわたし変態でいいい~~~~♡
おっぱい痛いのでいいよお~~~~♡
おっぱい潰されてイク~~~~♡
ミルクでいっちゃおう~~~~♡」

「ぐんぐん♡
ぐんぐん♡

「ぐんぐん♡
ぐんぐん♡

「ぐんぐん♡
ぐんぐん♡

「ぐんぐん♡
ぐんぐん♡

「ぐんぐん♡
ぐんぐん♡

「あは…♡
オマ○」にすっぽり挿入ってるぅ…♡」



はは♡
ズ♡
ズ♡
ズ♡

はは

はは♡
ズ♡
ズ♡

ズ♡
ズ♡

はは♡
ズ♡
ズ♡

「ね、動いていい？
私から動いちゃうね♡♡」

「ぶあおお~~~~~おっぱいささささ~~~~~♡
おち○ち○きもちららら~~~~~♡
痛いのもいざいざ
やっぱりっねがららら~~~~~♡♡♡」



ああ…幽々子さんのマ○トすげく
キツくて…搾り取られそうだった…

おっぱい
おっぱい

「もっと！もっととおーもっと突いてえ！
幽乃子のオマ○の一番おくう、
もっと突いてええ♡♡♡♡♡」



スゴっ…オッパイがあばれてるっ…
「ああくっ♡♡奥！奥おくう！
わたひのオッパイの奥からもくるのおおお♡♡♡」

「あ~~~~~ッ出たっ！
おっぱいミルクでたああ~~~~~っ♡♡♡
はあああきもひいいいよほおあ~~~~~♡♡♡」

あ~~~~~♡
びゅーっ♡

あ~~~~~♡
あ~~~~~♡
あ~~~~~♡
あ~~~~~♡
あ~~~~~♡
あ~~~~~♡
あ~~~~~♡
あ~~~~~♡

くお…噴乳したとたん二段と締まりがっ！
で…射精るっ！

「いよいよお~~~~♡♡射精してっ！
いっしょにア~~~~おおお♡♡♡♡♡」

あ~~~~~♡
あ~~~~~♡
あ~~~~~♡
あ~~~~~♡



「はーっ♡はーっ♡はーっ♡♡♡♡
しゅ、しゅごいよかつたあ♡♡♡♡♡
おなか…たぶたぶ♡♡♡♡♡」

「はーっ♡はーっ♡はーっ♡♡♡♡
しゅ、しゅごいよかつたあ♡♡♡♡♡
おなか…たぶたぶ♡♡♡♡♡」

「ミルクの匂いとザーメンの匂いで
あたま…とろけちゃいそお♡♡♡
すっごく…まもひ…よかつた♡♡♡」

「どろお…♡」

